

令和3年度 林業普及週間現地情報 (8/16～8/20)

森林管理課

ヤエヤマシタンの採種

8月17日 (火)

八重山農林水産振興センター農林水産整備課では、今年度も大本小学校内に生育しているヤエヤマシタンの採種を行った。夏休み期間ということもあり、生徒たちは不在であったが、八重山森林組合と共に採種した(写真1)。

ヤエヤマシタンはマメ科の植物で、国内では石垣島のみで自生していると言われており、その木肌は美しく光沢があることから、家具材又は建築用材として乱伐され、環境省のレッドデータブックでは絶滅危惧ⅠA類に指定されている貴重種である。また、平久保に自生する2本のヤエヤマシタンについては、国の天然記念物にも指定されている。

2年前に大本小学校で採種し生産した苗を、昨年度、石垣市平得地内の県営林に人工造林しており、順調に生長している。(写真2)

今回採種できた豆果については、八重山森林組合及び佐藤林業へ配布し、引き続き育苗指導を行っていく予定である(写真3)。

また、大本小学校の木育担当の先生より、昨年度は生徒たちも一緒にヤエヤマシタンの採種及び播種を指導していただいたが、生徒たちはその経験が楽しかったようで、今年度も率先して採種していたと報告があった。

新型コロナウイルスの感染拡大により、なかなか木育活動を行うことができないが、今後も大本小学校と連携を図りながら、ヤエヤマシタンを通じた木育活動を行っていききたい。



写真1 ヤエヤマシタン採種



写真2 造林したヤエヤマシタン



写真3 採種できた豆果